

令和6年度 北海道札幌西高等学校 学校経営シラバス

【基本的な考え方】

- 「北海道教育の基本理念」及び「石狩管内教育推進の重点」を踏まえる
- 生徒、保護者の期待及び地域住民や道民の負託に応える
- 「日本のリーディングハイスクール」を目指す

【スクール・ミッション】

- 1 校訓「自由 自律 叡智 創造」や西高実行精神「やることはやる やるときはやるやれるだけやる」で表される自由闊達な校風を受け継ぎ、日本のリーディングハイスクールを目指す
- 2 海外研修や理数系コンテストへの参加、大学と連携した医療系人材プログラムの実施など先進的な教育活動を推進し、北海道の高等学校教育をリードする役割を担う
- 3 次代を担うグローバルリーダーとして、新たな社会的な価値の創造と科学技術分野の発展に貢献できる生徒の育成
- 4 多様化する国際社会において主体的かつ協働的に取り組む資質・能力を身に付けた生徒の育成

【校訓】

自由 自律 叡智 創造

【学校教育目標】

- 1 自ら考え、自ら学び、自ら鍛える教育
- 2 人間相互の理解と信頼を深め、調和的成長をめざす教育
- 3 責任を重んじ、豊かな社会性と公正な判断力を養う教育

【育成を目指す資質・能力に関する方針】

- 1 創造性や独創性にあふれ、高い知性と豊かな情操、強い志を兼ね備え、持続可能な社会の実現にリーダーシップを発揮できる人材の育成
- 2 多様化した国際社会で主体的・協働的に生きる資質を身に付けた次代を担う人材の育成

【教育課程編成・実施に関する方針】

- 1 深く、しっかりとした学びを推進し、幅広い教養、将来の研究活動の基礎となる学力の定着を図る
- 2 「総合的な探究の時間」などの探究活動を通して、教科横断的な視点で学習の深淵を極め、未知の状況にも対応できる思考力・判断力・表現力等を育成する
- 3 学校行事や生徒会活動など特色ある教育活動等を通して、チャレンジ精神を高め、主体的・協働的に取り組む姿勢を養う
- 4 サイエンスキャンプや大学研究室訪問などの「科学技術系人材育成プログラム」や医学セミナーや地域医療体験活動などの「医療系人材育成プログラム」などの大学と連携した教育活動を通して、好奇心や学習意欲を高め、自ら学び、考える自走できる力を身に付ける
- 5 海外セミナーの開催や外国人研究者による講演会等を行うとともに、様々な海外研修への参加や海外留学などの教育活動を通して、グローバルな視野を高め、多面的で多角的な見方や考え方を身に付ける

【入学者受入に関する方針】

- 1 学業、人物ともに優れ、将来の夢や希望を実現させようとする強い意志がある生徒
- 2 旺盛な知的好奇心を持ち、自らの能力を活用して社会に貢献しようとする高い志をもっている生徒
- 3 国際交流や国際理解に強い関心を持ち、次世代を担うグローバル人材に必要とされる資質・能力を高めたい生徒

【経営方針】

- 1 「学校における働き方改革北海道アクション・プラン（第3期）」等に基づき、ICTを活用した校務処理の効率化や校内組織の活性化及び教職員の学校経営参画意識の高揚を図り、協働体制の確立に努める。
- 2 教職員と生徒、保護者の信頼を基盤に、活力あふれる教育活動を展開するとともに、入学から卒業までの体系的で継続性のある教育活動を展開し、スクールミッションの達成を目指す。
- 3 新たな課題の解決に向け、教育活動のPDCAマネジメントサイクルを確立するとともに、保護者や地域住民の視点や、全国的に優れた教育実践等を参考にするなど、教育活動の改善・充実に取り組む。
- 4 育成を目指す資質・能力をバランスよく身に付けさせる学習活動を充実させるとともに、自己の在り方生き方を考えさせながら、よりよく課題を発見し解決していくための資質・能力を育む探究的な学習を充実させる。

【重点目標】

- 1 開かれた学校づくり
(重点事項1) P T Aや学校評議員など関係団体等との連携
○ 教育方針や特色ある教育活動、学校評価などについての学校評議員の意見を把握し、教育活動の改善を進める。また、様々なP T A活動やホームページ等を活用した広報活動を通して、生徒の状況や教育活動の現状について情報発信し理解や協力を得る。さらに西高会、輔仁会、振興会、後援会などの支援団体から生徒の教育活動に対する支援体制を確立する。
(重点事項2) 法令遵守と説明責任の徹底
○ 法令や通知等を遵守するとともに、家庭、地域への十分な情報提供を行い、信頼される学校づくりを推進する。
- 2 生徒の資質・能力の伸長を図る学習活動の充実
(重点事項1) 多様で質の高い「深い学び」を引き出す授業等の実施
○ 各教科・科目における「見方・考え方」を働かせながら、知識を相互に関連付けてより深く理解したり、情報を精査して考えを形成したり、問題を見いだして解決策を考えたり、思いや考えを基に意味や価値を創造したりすることに向かう「深い学び」の授業を展開し、可搬性、活用可能性、持続発展性が高く実生活で活用できる学びを実現する。
(重点事項2) 授業と個別学習を有機的につなげた学習体制の確立
○ 学校における教育活動と家庭等における個別学習の特長を互いに生かしながら生徒の資質・能力の伸長を図る。
- 3 リーダーシップ教育の推進
(重点事項) 自主的・自発的な活動の充実
○ 生徒会活動やホームルーム活動、部活動などの自主的・自発的な活動を通して、よりよく解決するために課題を見出し、解決するために話し合い、合意形成を図り、実践できるリーダーとしての資質・能力を育成する。
- 4 キャリア教育の推進
(重点事項1) 探究的な教育活動の充実
○ 課題の設定、情報の収集、整理・分析、まとめ・表現のプロセスを重視した教育活動を通して、課題発見・解決力、情報収集力、論理的思考力、コミュニケーション力、表現力などを身に付け、自己の在り方生き方を考えながら、よりよく課題を発見し解決していくための資質・能力を育む探究活動を充実させる。
(重点事項2) 高等教育機関等との連携
○ 大学の専門的な学びや教育研究にふれることを通して、職業観や勤労観を高めるとともに、主体的に科学を究め、生徒の学習意欲や進路意識を高めることを目指した高等教育機関等との連携を進める。